

2016年7月27日

日本流通学会会員各位

日本流通学会第30回全国大会開催のご案内

第30回全国大会実行委員長

田口 冬樹（専修大学）

拝啓 皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、日本流通学会第30回全国大会(10月14日(金)～16日(日)、専修大学神田キャンパス)のプログラムが確定いたしましたので、ご案内申し上げます。多くの会員の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

本案内状は大会プログラムを兼ねております。また郵便振替の振込票と会場案内も同封しております。ご確認ください。昨年同様、報告要旨集は学会ウェブサイト上の電子版のみですので、ご了承ください。統一論題および自由論題の要旨集は、9月上旬にアップロードされる予定です。

大会参加費は3000円(非会員の方は3500円)、懇親会費4000円(当日申し込みの場合5000円、なお院生・学生の場合、3000円(当日申し込み4000円)は、前払いとさせていただきます。ご了承ください。

お手数とは存じますが、学会ホームページ(<http://www.jsdis.org/>)にあります出欠票に参加希望をご記入のうえ、9月15日(木)までに以下のメールアドレスまでお送りください。

また、併せて振込票による大会参加費・懇親会費の振込をお願いいたします。振込後のご返金はいたしかねますので、ご了承ください。なお、領収書につきましては、当日、受付時にお渡しいたします。振込票の加入者名が大会事務局の「川野訓志」名義になっておりますのは、ゆうちょ銀行の規則によるものであることを付け加させていただきます。

参加申し込みアドレス：thc0615@isc.senshu-u.ac.jp

大会開催中の昼食につきましては、神田キャンパス周辺は飲食店が多くありますので、そちらをご利用ください。

近年は海外からの旅行者増加に伴い東京及びその周辺での宿泊予約が取りにくい状況が続いております。こちらでは宿泊先の斡旋等は行っておりませんが、できる限り早めのご予約を強くお勧めいたします。

皆様と大会会場でお会いできることを楽しみにしております。

敬具

日本流通学会・第30回全国大会 統一論題趣意書

統一論題「流通・サービスのグローバリゼーション」

2016年度 全国大会プログラム委員会

日本流通学会設立25周年記念出版プロジェクトの第五巻『グローバルマーケティングの新展開』では、グローバルマーケティングとブランド管理の理論的分析を踏まえ、各種の実証的分析が論じられている。1990年代までは製造業を中心とした国際事業展開が主流であったが、サービス分野の市場開放が国際的に段階を追って進む中、小売、流通、外食、旅行、個人向けサービスなどにおける市場開放は拡大し続けている。2000年代に入って、モノにサービスが付加された商取引から、サービスにモノが付加するサービス・ドミナント・ロジックが議論され、サービスの役割は一層注視されている。

世界貿易機関（WTO）では、モノの貿易のみだけではなく銀行・保険などの金融、情報通信分野、サービス、知的財産権なども含めた包括的な取り決めを進める一方、二国間の自由貿易協定（FTA）はじめ、多国籍・地域間の経済連携協定（EPA）も2000年代に入って急増している。

EPAはモノの流れだけではなく、人的交流（観光、ビジネス、滞在）、直接投資、政府調達、資金の流れなど企業活動のヒト、モノ、カネ、情報の相互交流の制約条件がより緩和され、流通・サービスのグローバル化の進展を促進させる触媒的な役割を果たしている。「グローバリゼーション」という言葉から連想されるアクションは、日本から海外へサービスやモノの流れと想定しがちであったが、EPAの協定国・地域の関係では海外から日本市場への簡便なアクセスも同時に進行することを忘れてはならない。

2016年2月、環太平洋経済連携（TPP）の参加12カ国（日本含む）による協定署名、批准手続きが本格化し、世界の国内総生産の4割弱、人口で8億人を超える経済圏が誕生しようとしている。更に、日本政府はAPEC21カ国、RCEP16カ国、日中韓FTA、ASEAN+3カ国、ASEAN+8カ国などブロック経済を促進する構想が目白押しである。

今回の統一論題「流通・サービスのグローバリゼーション」では、以下の視点に焦点を当て議論を進めたい。第1は競争優位性と現地適合化を重視する小売企業の課題、第2は今まで国際化が弱いとされた事業分野、例えば広告代理店の海外進出あるいは国境がないかのように扱われてきた電子商取引、第3は国内農産物のグローバル市場への課題に主たるテーマを据え、グローバリゼーションにおける既存理論の更なる検証を進め、会員の英知を結集し、実りある全国大会を目指したい。

なお、全国大会30回記念行事として、大会2日目午前、分科会の一つを特別セッション「グローバル研究のフロンティア」と題して、2名の研究者と1名の実務家による発表と質疑を実施する。

日本流通学会 第30回全国大会 プログラム

統一論題「流通・サービスのグローバル化」

会場 専修大学 神田校舎(東京都千代田区神田神保町3-8)

日程

10月14日(金)	各種委員会・理事会
13:30-16:00	企画委員会 (1号館 8階 8A会議室)
14:00-16:00	編集委員会 (1号館 8階 8B会議室)
14:00-16:00	学会賞選考委員会 (1号館 8階 8C会議室)
14:00-16:00	国際交流委員会 (1号館 7階 7A会議室)
14:00-16:00	情報管理委員会 (1号館 13階 13A会議室)
16:00-18:00	理事会 (1号館 8階 8A会議室)
10月15日(土)	
09:30-16:15	統一論題シンポジウム(2号館 3階 302教室)
16:30-17:40	会員総会 (2号館 3階 302教室)
18:00-20:00	懇親会 (エスペリア)
	※受付 2号館 3階 302教室前
	休憩室 2号館 2階 203教室
10月16日(日)	
09:05-15:30	自由論題報告・30周年記念セッション(7号館)
	※受付 7号館 1階 エントランスホール
	休憩室 7号館 7階 771教室 8階 781教室

全国大会 第1日 10月15日(土)

統一論題シンポジウム 2号館 302教室

統一論題座長 山口夕妃子(佐賀大学)
総合司会 番場博之(駒澤大学)

タイムテーブル

09:30-09:35	開催校挨拶	田口冬樹(専修大学)
09:35-09:40	学会長挨拶	樫原正澄(関西大学)
09:40-10:00	座長解題	山口夕妃子(佐賀大学)
10:00-10:40	総論 流通業の国際化	鳥羽達郎(富山大学)
10:40-10:55	休憩	
10:55-11:35	日中韓における電子商取引の比較研究	関根孝(専修大学)
11:35-12:15	果実の輸出	種市豊(山口大学)
12:15-13:15	昼食	
13:15-14:15	日本の広告代理店の世界戦略	秋葉祐輔 (株式会社エスピーアイ 取締役会長) (45分発表+15分Q&A)
14:15-14:30	休憩	
14:30-16:15	パネルディスカッション	
	パネラー	鳥羽達郎(富山大学)、関根孝(専修大学)、 種市豊(山口大学)、秋葉祐輔(エスピーアイ)
	コーディネーター	鍾淑玲(東京工業大学)、野崎俊一(立教大学)
16:15-16:30	休憩	
16:30-17:40	会員総会	
18:00-20:00	懇親会(エスペリア)	

全国大会 第2日 10月16日(日)

自由論題セッション 7号館 各教室(3、7、8階)

第1会場 (7階 774教室)

マーケティング① 座長 吉村純一(熊本学園大学)

- 09:05-09:45 BtoBマーケティングのメカニズムに関する考察
ーシリコンウェハーメーカーの事例を通してー
増谷博昭(京都大学大学院)
- 09:50-10:30 ラグジュアリーブランド企業のデザイナーのインスピレーションの
源泉に関する考察
大谷浩介(京都大学大学院)
- 10:35-11:15 2000年以降のコンビニエンスストア業界の動向と競争環境の分析
山崎京二(広島修道大学大学院)
- 11:20-12:00 SNS活用による訪日外国人の域内観光行動への一考
ーフリジェン観光行動モデルの域内行動に対するSNSの役割ー
岩井雅代(NECエンジニアリング株式会社)
- 12:00-13:20 昼食

マーケティング② 座長 江上哲(日本大学)

- 13:20-14:00 マーケティングをいかにして捉えるか
佐久間英俊(中央大学)
- 14:05-14:45 今日的市場細分化戦略ー水平的拡大から垂直的拡大へー
松井温文(追手門学院大学)
- 14:50-15:30 ホテル料飲部門とサプライヤーの取引関係
ー生鮮品の仕入れ・調達に関する事例研究ー
田尾桂子(立教大学)

第2会場（7階 773教室）

流通 座長 齋藤雅通（立命館大学）

- 09:05－09:45 小売事業ブランドの生成・発展における「埋め込み」('embeddedness')
の役割と変容
木下明浩(立命館大学)
- 09:50－10:30 資源ブーム終焉と総合商社の投資戦略
田中彰(京都大学)
- 10:35－11:15 災害時における食品サプライチェーンの事業継続可能性
－食品メーカーのアンケート調査に基づく分析－
秋川卓也(日本大学)
- 11:20－12:00 企業家的志向と流通チャンネル選択が企業成長に与える影響
小本恵照(駒澤大学)

12:00－13:20 昼食

政策・まちづくり 座長 福田敦(関東学院大学)

- 13:20－14:00 イギリスにおけるまちづくり推進組織(BIDs)に関する検討
白戸伸一(明治大学)
- 14:05－14:45 京都市の商業政策の展開と都市商業の課題
若林靖永(京都大学)
- 14:50－15:30 観光者の観光地・観光施設に対するブランドイメージとロイヤル
ティ形成に関する考察
河田浩昭(オリエンタルランド)

第3会場 (8階 784教室)

海外 座長 原田将(兵庫県立大学)

09:05-09:45 中国における流通近代化
石鋭(京都大学大学院)

09:50-10:30 中国系小売企業永輝の成長戦略
肖榮(福州大学)

10:35-11:15 中国における百貨店の現状分析と今後の方向
朱克宇(専修大学大学院)

11:20-12:00 「インターネットプラス」から見る中国小売業の変動
楊陽(廈門理工学院)

12:00-13:20 昼食

アパレル 座長 林優子(名桜大学)

13:20-14:00 ファストファッションのCSV戦略
鳥羽達郎(富山大学)

14:05-14:45 ファッションにみる環境適応行動とビジネスモデルの進化
ーオートクチュールからSPA、そしてライフスタイルビジネスへー
大村邦年(阪南大学)

14:50-15:30 日本テキスタイル産業におけるクイックレスポンス(QR)の進展と課題
杉田宗聰(阪南大学)

第4会場 (8階 783教室)

※午前中は開催しません。

農業 座長 坂爪浩史(北海道大学)

- 13:20-14:00 公設卸売市場の危機とわが国卸売市場制度の考察
細川允史(卸売市場政策研究所)
- 14:05-14:45 河内鴨のブランドビジネス
— ツムラ本店の戦略的秀逸性から見えてくるもの —
平山弘(阪南大学)
- 14:50-15:30 酪農を内包する資源循環型農業システムの実態と持続性
— 中国河北省保定市徐水県漕河鎮を事例として —
馬麗娜(鹿児島大学大学院)・豊智行(鹿児島大学)

30周年記念報告会場 (3階 731教室)

グローバル研究のフロンティア 座長 井上真里(日本大学)

- 09:05-09:45 Recent Development of Vietnamse Online Homeshopping and
its Implications
イ トシル (Dong Il Lee) 世宗大学
- 09:50-10:30 フランスにおける社会的連帯経済とCommerce Associé
佐々木保幸 (関西大)
- 10:35-11:15 日英におけるフードデザート研究
— 食料品アクセスに次ぐ新たな指標の検討 —
岩間信之 (茨城キリスト教大)
- 11:20-12:00 味の素の海外事業とグローバル人材育成
吉宮由真 (味の素株式会社 執行役員人事部長)
※午後は開催しません。